

市の助言内容と申出者の意見

市の助言		申出者の意見
1 低層部と高層部のデザインの切り替えについて		
隣接する岩佐ビルの高さと計画建物のデザインを切り替える高さを可能な限り揃えることは、コンセプトの一つである「周辺建物との調和」を実現するために有効な方法と考えられます。コンセプトの実現をよりわかりやすく表現できるよう、例えば4階バルコニーの手すりのデザインを3階バルコニーのデザインと揃えることや色彩の調整による視覚的な連続感の演出を取り入れることなどを検討してください。		「周辺建物との調和」を考慮し、岩佐ビルの高さと計画建物の色彩を切り替える高さが連続した印象となるよう、4階バルコニーの手摺部分の色彩の調整を検討していきます。
2 外観の色彩について		
コンセプトの「周辺建物との調和」と「圧迫感の低減」を実現するために、低層部と高層部で使用する色彩を分ける構成とされています。全体のイメージが損なわれないようバランスを図りつつ、コンセプトを実現するために次の点を検討してください。		-
(1)	計画建物の低層部は「周辺建物との調和」が図られるよう、このエリアにおいてポイントとなる色彩を丁寧に見極めていただくとともに、工事の段階においても現場で調整を図り最終的な色彩を決定するよう努めてください。	岩佐ビルだけではなく、サッポロファクトリーレンガ館などの周辺建物との調和を考え最終的な色彩を決定するように検討していきます。
(2)	計画建物の東側高層部は隣接する岩佐ビルの背景となることから、影になった時の見え方を考慮し、最終的な色彩を決定するよう努めてください。また、バルコニーデザインの東側壁面へのまわし込みについて、単純な白と黒の色彩変更によるデザインであれば工夫の余地が感じられることから、例えば色彩の微調整を行う、凹凸のある形状とするなど丁寧に検討していただき最終的なデザインを決定するよう努めてください。	岩佐ビルの背景となる面については、影になった時の見え方を考慮し色彩を検討していきます。バルコニーデザインの東側壁面へのまわし込み部分については、白色の部分の躯体を50mm程度厚みを出して凹凸のある形状とし、立体的なデザインとなるよう検討していきます。

3 みどりによる敷地際のしつらえについて		
	緑化率を満たすことを前提としながら、歩行者やバス停で待つ人たちがみどりを感じられる空間となるよう、植栽環境を考慮した樹種の選定と配置に努めてください。	南側道路に面する部分には歩行者やバス停で待つ人たちに緑を感じてもらえるよう、敷地の奥まったところではなく、歩道から直接見える範囲に植栽を設けるよう検討していきます。バルコニー下の範囲は半日陰となることを前提にしつつも、単調な植栽計画にならないよう、耐陰性のある植栽を複数組み合わせるなど、樹種の選定と配置を検討していきます。
4 安全性と景観配慮の両立について		
(1)	自動車の動線と歩行者の動線が重なり接触の確率が上がりやすい駐車場出入口については、将来的に景観の阻害につながる工作物や看板等が設置される可能性を低減できるよう、計画・設計の段階から対策を検討いただくとともに、対応可能な工夫を実践することを期待します。	自動車と歩行者の動線が重なる駐車場の出入口については、敷地内の車路から南側道路の歩行者を確認できるようミラーの設置を検討していきます。 ミラーはデザイン性にも配慮し広角の平面ミラーなどの平面的なものとし、目立たない形状・色を検討していきます。
(2)	バルコニーのデザインについて、腰壁とガラス手すりの組み合わせ方によっては、転落事故の危険性を高めるおそれがあります。デザイン上の配慮を行った結果、安全性が損なわれることがないように、丁寧に検証してください。	バルコニー手摺は安全性に考慮し、RC腰壁高さを700 mm+ガラス手すり部分を450 mmとしています。 ガラス手すり部分は手がかりになるような突起やすき間部分を出来るだけなくした形状を検討していきます。